

## 第 10 回 宇部市常盤通りウォーカーブル推進協議会 ～会議録～

日時	令和 6 年 10 月 7 日（月）10:00～11:00	
場所	市役所 3 階 防災情報センター	
出席者	協議会	市長（会長）、榊原委員（欠席）、宋委員、宮崎委員、熊谷委員、和田委員、江嶋委員、大下委員（田村委員の代理）、菊田委員（欠席）、藤野委員（胡委員の代理）
	事務局（国）	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所 交通対策課：中岡課長、加田専門調査官、植木技官 道路管理第一課：原課長、土谷建設専門官、森事務官
	事務局（市）	都市政策部：磯中部長、福田次長、渡辺次長 中心市街地活性化推進課：上田課長、安部副課長、落合係長、光木、内田

### 議事概要

#### ■歩行空間の幾何構造等について

道路幅員等の考え方について説明（国）

#### 【質疑応答】

特に意見無し

#### ■常盤通りの管理運営計画（素案）について

管理運営計画（素案）について説明（市）

#### 【質疑応答】

（委員）キッチンカー等でゴミが発生すると思うが、ゴミの管理はどうか。

（事務局）ゴミ箱を設置しているキッチンカーもいる。イベントで複数台来る場合は、イベントの主催者がゴミ箱を設置するケースが多い。イベント主催者に求めていくとともに、指導やサポートを中間組織が行う形になると思う。

（委員）民間イベント等の相談受付とあるが、対象は常盤通りのみか。

（事務局）当初は常盤通りがメインになってくると思うが、将来的には中間組織と連携して区域を拡げていければと思う。

（委員）民間のイベントを行う場合、様々な手続きに苦勞している。そういった手続きに関する相談窓口が宇部市には無い。イベントの手続きをサポートしてくれる窓口があれば、イベントを行う側も助かる。

（会長）まずは、ウォーカーブル区域からはじめることになるが、主催者がやりたいイベントに集中できるような環境を整えていくことが大事である。しっかりと盛り込んでいきたい。

（委員）実際に管理運営を行っていくと目に見えない部分が出てくると思う。中間組織に対して監視・評価・互いに相談など行う組織を考えているか。

(事務局) 協議会という形もあると思うが、にぎわい交流拠点施設の管理運営団体とも協力しながら協議会のようなものが作れたら一番良いと思う。

(会長) 中間組織には地元調整など人間関係を形成する役割も必要となってくる。中長期のビジョンを考える際にも必要と思う。

(委員) 新天町でイベントを行う主催者には、ゴミや汚れの問題に厳しく対応してもらっている。今後も徹底していただきたい。商業を発展させるためには、各商店街を相互に回遊できるように面として考えていかなければならない。

(委員) 市役所前のキッチンカーの収益性はどうか。

(事務局) 現状では、利益が出ている状況とは言えない。現在は週2日出店しているが、募集する曜日を増やすとか、イベントを絡めていく必要があると思う。

(委員) 現状のキッチンカーは、市役所や山口銀行を利用する方をターゲットにしていると思う。中心市街地にどうやって人を集めるか、にぎわい交流拠点施設等からの動線をもっと考えるべきと思う。コンテナハウスでの出店も収益が見込めないと出店しようとならない。新天町も含めて、どのように滞留・回遊させるかをもっと考えていくべきである。

(会長) 令和9年度に、にぎわい交流拠点施設が出来れば出店してもよいという話を伺うこともある。昼間の滞在人口を増やしていく必要がある、目的地であるにぎわい交流拠点施設が出来て、人が集まってくる時にオフィス、企業誘致などビジネスチャンスを作る。

(事務局) 形が見えてくる中で、どのような出店希望があるか商工会議所と起業塾を通じて引き続きご意見をお聞きしたいと考えている。

(委員) ヒストリア宇部西側の真締川公園の公衆トイレがイベント後、毎回汚れてにこいが酷い。この部分にも目を当てていったほうが良いと思う。

(事務局) ヒストリア宇部西側の真締川公園もウォークアブル化の一環として再整備を行う。公衆トイレも併せて改修する予定である。令和6年度から公園の測量、基本設計を行い、滞在できる空間を創っていく。

(委員) トイレは非常に重要である。特に女性用が快適になることが必要である。

(会長) 常盤通り周辺のトイレは、2期庁舎、にぎわい交流拠点施設に新たに整備し、ポスティブビルドにもある。真締川公園、中津瀬神社の公衆トイレは改修する。

(委員) 商業に関しては様子見している段階だと思う。頑張ろうと思ってもらえるような気持ちにさせる必要がある。効果的なイベントを打っていくなど、ソフト面も良く考えてほしい。市役所主導より民間の力を引き出すことが必要である。

(会長) ソフト面については、平時にも使ってもらえるようなイベントを考えていく必要がある。商店街とコラボ出来ると良い。ハードだけ整備して失敗するよくある事例にならないようにしたい。

(委員) 中間組織に関連して、駐車場の統合管理、マネジメントについて何か考えていることはあるか。

(事務局) 寿町第一、第二有料駐車場をにぎわい宇部が管理している。周りの店舗やにぎわい交

流拠点施設の駐車場との共通券、割引なども考えていかなければならない。駐車場の台数は、周辺の駐車場で概ね足りる計画である。一方で公共交通の利用を推進するため、キャンペーンも含め市民に周知していく。

(会長) 別の会議となるが、公共交通のあり方について考えているところである。

## ■【報告】景観デザインガイドラインについて

景観デザインガイドライン作成の目的や概要について説明(市)

### 【質疑応答】

(委員) 常盤通りと新天町を繋ぐ老朽化した商店街がある。景観を整備する意味で新天町と常盤通りを繋ぐ快適な空間としてほしい。

(事務局) 老朽化した家屋が中心市街地内にあるため、活用しやすい解体の補助金メニューや重点的にエリアを絞っていくなど今後検討が必要と思う。一方で個人の所有物になるため、所有者が動いてくれることが前提になる。周りの商店街の協力や説得が必要になってくると思う。

(会長) まずはガイドラインを作成するところからはじめる。

(会長) 台湾の台南市で、昔の原風景を復活させた商店街の事例があり、にぎわいを取り戻している。宇部の原風景が分かる写真等があると良いが。

(委員) 昭和の街並みを再現するという点については大変良いと思うが、雨漏り等建物の改修が必要である。